

J Aおちいまばり第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

金融事業

ビジョン・目指すべき姿		地域に根ざしたJAの金融機関として、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供を通じて豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。								
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成29年度の目標値	実績値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	地域金融機関として農業及び地域社会への貢献	農業メインバンク機能の強化	営農経済部門と一体となり、農業者・農業法人への出向く活動を実践するとともに、資金ニーズに応じた最適な農業資金の提案を行い、農業メインバンク機能の強化に取り組みます。	管内の訪問対象先(認定農業者・メイン強化先)との面談を強化し、平成28年度は年100回、平成29年度は300回、平成30年度は450回を目標に取り組みます。	担い手への訪問回数 300回	488回	100.0%	農業の夢フォローアップ訪問」と「農業の夢ヒアリング訪問」及び「農業メインバンクCS調査（個人・法人）」を実施して、情報収集と農業者の満足度向上に取り組みました。	農業者への出向く訪問活動を継続、農業資金ニーズを的確に把握し、ニーズに合った提案を積み重ねることで、地域農業の振興に努めます。	融資指導課
			農業・地域振興への取り組みの財源を確保するために、平成30年度でのJA貯金3,000億円、年金振込口座2万件を目標として地域から選ばれる金融機関をめざします。	総貯金残高について、平成28年度末2,856億円、平成29年度末2,930億円、平成30年度末3,000億円をめざします。	年度末の総貯金 2,930億円	2,980億円	100.0%	年金定期貯金「結いの恵み」と懸賞付定期貯金「彩り柑橘」を併せて組合員・地域の皆様に積極的に提案・獲得しました。	年金定期貯金「結いの恵み」と4月から扱う共済満期専用定期貯金を提案し新規獲得と流出防止を併せた活動を実施します。	金融企画課 推進指導課
2	農業協同組合における金融事業の役割発揮	永続性のある安定的収益基盤の確立	年金振込口座について、平成28年度末19,750件、平成29年度末20,500件、平成30年度末20,750件をめざします。	年金受給者 20,500件	20,909件	100.0%	1/25、27、28の3日間（6公演）でJA独自年金コンサートを実施しました。他金融機関にないJA独自特典を積極的にPRし大変喜んでいただきました。	他金融機関に負けないJA独自特典を積極的にPRしながら新たな年金受給者の獲得に努めます。	金融企画課 推進指導課	
			選ばれ続けるJA共済となるため、3Q訪問を基軸としたきめ細やかな活動を展開することを最優先し、新しい仲間づくりに取り組みます。	共済ニューパートナーについて、年間1,300人獲得の3年間継続をめざします。	目標獲得数 1,300人以上	886人	68.1%	3Q訪問活動からの契約内容確認と新たな情報発信を積極的に行いました。併せて建物仕組改訂のお知らせ活動も実施しました。こども倶楽部のイベントを2回実施し大変喜ばれました。	こども倶楽部等を利用し「ひと・いえ・くるま」全分野での新規契約獲得を中心にニューパートナー獲得に努めます。3Q訪問活動の全戸訪問に向けて取組強化を行います。	金融企画課 推進指導課